

令和 5 年度神奈川県社会教育委員連絡協議会 地区研究会【寒川町会場】



社会教育でめざす 「ひとづくり・つながりづくり・まちづくり」

日時 令和 6 年 2 月 15 日（木）午後 1 時～午後 4 時

会場 寒川町民センターホール（寒川町宮山 165）

主催 神奈川県社会教育委員連絡協議会

主管 寒川町社会教育委員会議

令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会【寒川町会場】開催要項

- 1 テーマ 社会教育でめざす「ひとづくり・つながりづくり・まちづくり」
- 2 目的 県内各市町村の社会教育委員が一堂に会し、それぞれの地域での取組や社会教育の今日的課題について研究協議・情報交換することにより、資質の向上を図る。
- 3 主催 神奈川県社会教育委員連絡協議会
- 4 主管 寒川町社会教育委員会
- 5 日時 令和6年2月15日（木）13：00～15：50（12：30 受付開始）
- 6 会場 寒川町民センター ホール
〒253-0106 寒川町宮山 165
- 7 日程
 - 12：30～13：00 受付～寒川町 PR 動画紹介
 - 13：00～13：05 開会 司会進行：寒川町社会教育委員 堀洋己、平本 正子
 - 13：05～13：25 アトラクション「アーバンスポーツの魅力発信！」
BMX フリースタイル・フラットランド種目試技
実演：田圓尚人選手（BMX プロライダー）
 - 13：25～13：30 舞台転換
 - 13：30～13：50 式典
開会の言葉：寒川町社会教育委員会議長 森 和彦
主催者挨拶：神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 小池 茂子
会場地挨拶：寒川町教育委員会教育長 大川 勝徳
来賓祝辞：神奈川県教育委員会教育局生涯学習課長 信太 雄一郎
 - 13：50～13：55 舞台転換
 - 13：55～14：25 人権講話 講師：279smile 湘南 運営メンバー
「不登校・ひきこもりの悩みー地域でつながる・よりそう・認め合う」
 - 14：25～14：40 休憩
 - 14：40～15：10 事例発表①公民館部会
「すべての世代が集う公民館をめざして」
発表者：寒川町社会教育委員 山口 明伸、小林 くみ
 - 15：10～15：35 事例発表②図書館部会
「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～」
発表者：寒川町社会教育委員 倉本佳子、大野郁子
 - 15：35～15：45 質疑応答
 - 15：45～15：50 閉会の言葉 寒川町社会教育委員会副議長 仲田 政一

アトラクション

アーバンスポーツの魅力発信！～BMX フリースタイル・フラットランド種目試技

実演：田圓尚人選手（BMX プロライダー）

BMX フリースタイル・フラットランド種目はどんな競技？

BMX とは、「バイシクル・モトクロス」の略で、特定の自転車を使用した自転車競技および競技で使用する自転車のことを指し、BMX 競技には「レース」と「フリースタイル」の2種類があります。

「レース」はジャンプ台などの障害物のあるコースをレーサーがタイムを争う競技ですが、「フリースタイル」は自転車を使ったアクロバティックで難易度の高いテクニックを競います。「フリースタイル」は、さらに「フラットランド」「ストリート」「パーク」の3つの競技方式があります。

フラットランドは、平らな場所で BMX を使って、トリックといわれるスピンや一輪で走行するなどの技をくりだしていくパフォーマンス性の高い競技です。「BMX で踊るバレエ」とも評されます。



PROFILE／田圓尚人 Tamaru Naoto

埼玉県草加市出身

2019 年に FLAT PARK 設立/運営の為に寒川町に。海外での武者修行経験を活かし、ライダー/講師として活動中。2022 年に行われた ARK LEAGUE 2022 YOKOHAMA にて念願の優勝を果たした後ドイツの老舗 BMX BRAND “WE THE PEOPLE” のワールドチームに入る。赤キャップとゴールドのネックレスをトレードマークに BMX 業界を盛り上げる。(THE PARK ホームページより)

人権講話

不登校・ひきこもりの悩みー地域でつながる・よりそう・認め合う

講師：279smile 湘南 運営メンバー

「子どもが、学校へ行きたがらない」「最近、学校を休んでばかりいる」「学校へは行くけれど、教室に入れない」…そんなお子さんの様子に、「もしかして『不登校』なのでは」と、親御さんは心配してしまうものです。しかし、そんな心配を誰に相談したら良いかわからずにいる親御さんも多くいらっしゃいます。

「279smile 湘南」は、登校にお悩みを持つお子さんとその保護者の方を支える目的で、2015 年に神奈川県寒川町で設立しました。メンバーは子どもの不登校を支えた経験のある保護者と支援者で構成しています。ともに支え合い乗り越える活動を目指しています。



すべての世代が集う公民館をめざして

1. 公民館の利用状況～公民館はどのような人々が利用しているのか？
公民館サークル等の利用者と公民館講座参加者の男女比と年代の分析
2. 公民館にすべての世代が集うためにはどのような取り組みができるのか？
公民館をあまり利用していない世代とその原因
 - ①中学生・高校生・大学生
生活圏や活動範囲が広がり、地域での活動が少なくなる
 - ②勤労世代
平日は仕事に時間がとられ、あまり地域に目が向かない
 - ③定年退職世代（とくに男性）
今まで地域と接点のなかった人は、活動に入るきっかけが難しい
3. 公民館を利用していない人へのアプローチ方法
 - ①公民館を知ってもらう→公民館活動、サークルへの認知を高める取組
利用者はどのような媒体から情報を得ているのか？
 - ②公民館に来てもらう→公民館に入りやすい雰囲気づくり
公民館の利用方法や施設・機能は知られているのか？
 - ③公民館活動に参加してもらう→魅力的な公民館講座を企画する
公民館講座の申込手続きを改善してみた効果は？
 - ④公民館活動を継続してもらう→公民館サークル活動の参加を促す
公民館サークルの会員が減少する原因とは？
4. 課題解決に向けた取組結果とコロナ禍以降の公民館活動の変化

事例発表②図書館部会

本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために ～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～

はじめに…子どもの読書活動はなぜ重要なのか？

1. テーマ選定理由―「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために」何ができるか、何をすべきか？

家庭教育：多様化する家庭環境に対しての支援

社会教育：地域社会の持続的発展のための学びの拠点整備

学校教育：資質・能力を育むための読書活動の推進

2. 現状と課題・取り組み

①家庭教育～子どもたちが図書館へ足を運ぶ機会づくり

②社会教育～図書館のイベント（子ども読書推進事業）

・図書館まつり

・わくわく読書マラソン

③読み聞かせ活動

家庭教育：0歳児ブックスタート・おひぎにだっこのおはなし会

社会教育：図書館、公民館でのおはなし会

学校教育：ボランティアによる小学校での読み聞かせ

3. 事例紹介―さむかわジュニア司書制度

4. まとめ

活動をよりよくするための発展的改善点

①図書館ボランティアの育成

②学校図書館との連携

③地域の多様な主体との連携・協働

④図書館講座の開催

MEMO
